



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込みください。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

茨城大学理学部物理学領域（宇宙）教員

1. 教授または准教授 1 名
2. (1) 茨城大学理学部物理学領域
(2) 茨城県水戸市
3. 天体物理学・天文学。本学で展開されている電波、赤外線、および γ 線における観測的天文学・実験的宇宙物理学と連携しながら、研究を推進できる方。観測・理論は問わない。
4. 活発な研究を推進できる方。学部・大学院・全学共通教育での講義・実験・演習等の教育や学部および大学院生に対する研究指導を担当し、学部および大学院の運営にも積極的に貢献いただける方。
5. (1) 2011 年 4 月 1 日
(2) なし
6. 博士号取得者、またはそれと同等以上の能力を有する方
7. (1) 履歴書（フォーマット自由）、(2) 研究業績リスト（査読付き原著論文、国際会議集録、著書、総説、その他に分類）、(3) これまでの研究概要と今後の研究計画、(4) 教育への抱負、(5) 主要論文別刷 5 編以内（コピー可）、(6) 申請者について意見を述べられる方 2 名（国内外を問わない）の氏名と連絡先（e-mail も含む）
8. 2010 年 10 月 25 日（月）必着
9. (1) 〒310-8512 水戸市文京 2-1-1
茨城大学理学部 吉田龍生
(2) 吉田龍生 Tel: 029-228-8354
e-mail: yoshidat@mx.ibaraki.ac.jp

または百瀬宗武

Tel: 029-228-8402

e-mail: momose@mx.ibaraki.ac.jp

10. 封筒の表に「物理学領域教員（宇宙）応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送のこと。応募書類は返却しない。なお選考過程で必要と判断した場合、インタビューを実施することがあります（旅費等は自己負担）。
11. 〈個人情報の利用目的について〉茨城大学理学部の教員公募に関連して提供された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の個人情報を除き、すべての個人情報は責任をもって破棄いたします。

大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻教員

1. 准教授 1 名
2. 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻
3. 赤外線天文学
4. 赤外線観測による太陽系外惑星系などの宇宙物理学研究および関連装置開発。芝井 広教授、深川美里助教と協力して研究を進めるとともに、教育と大学運営に積極的に貢献できる方を求めます。
5. 決定後できるだけ早い時期
6. 博士の学位を有すること
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 主要論文 3 編以内のコピー、(4) これまでの研究内容（A4 で 2 頁以内）、(5) 研究・教育に関する今後の計画と抱負（A4 で 2 頁以内）、(6) 意見を聞ける方 2 名の連絡先
8. 平成 22 年 9 月 24 日（金）必着
9. (1) 〒560-0043 豊中市待兼山町 1-1
大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻専攻長 芝井 広
(2) 同上 芝井 広 Tel: 06-6850-5501
e-mail: shibai@ess.sci.osaka-u.ac.jp
（当専攻ホームページ：<http://www.ess.sci.osaka-u.ac.jp/>）
10. 「赤外線准教授応募書類」と朱書きし、簡易書留または書留で送付のこと。

国立天文台 ALMA 推進室特任助教 (専門研究職員)

1. 特任助教(東アジア地域センターサポート・アストロノマー) 1名
2. (1) 国立天文台 ALMA 推進室
(2) 国立天文台 ALMA 推進室 ALMA 東アジア地域センター
3. 観測天文学 (ALMA プロジェクトの推進)
4. 国立天文台では、日米欧3極による国際プロジェクトである ALMA の建設を進めています。ALMA では、2010 年度内の初期科学運用開始を目指し、2010 年1月から山頂での観測システムの科学評価活動が開始され、ALMA を使った観測活動がいよいよ始まりつつあります。そこで、東アジアの ALMA 地域センター (EA-ARC) では、ALMA によるサイエンスを強力に推進する体制を整備する必要があります。今回募集する特任助教は、EA-ARC のサポート・アストロノマーとして、ALMA を用いた科学成果を生み出すために、初期および本格運用に向けたサイエンスプロジェクトを立案・推進し、国際的に競争力のあるサイエンスを展開しつつ、以下の業務を担当するものです。
 - ・国内外における ALMA サイエンスのプロモーション活動を行う (研究会、ユーザーズミーティングなど)。
 - ・ALMA の共同利用運用のためのユーザー支援業務を行う。
 - ・出張ベース (3 カ月程度の出張を年1回、または、1 カ月程度の出張を年間2-3回) で、チリ現地における試験運用 (CSV: Commissioning, Science & Verification) を推進する。
勤務時間の75%を、以上の業務に携わっていただいたうえで、残りの25%は、以下の ALMA 関連の研究業務に割り当て、しっかりと競争力のある研究業績を上げていただきます。
 - ・ALMA 初期科学運用においていち早く観測成果を出す。
 - ・ALMA における新しい研究フィールドを開拓する。
5. (1) 2010 年12月1日
(2) 2010 年度末 (2011 年3月末日) まで。
年度末ごとに雇用更新可、最長2015 年3月末日まで。
6. 上記業務に必要な、以下の知識と経験を有すること。

と。

- ・天文学の基本的な知識 (大学修士卒以上のレベル) を有すること。
 - ・電波観測装置を用いた観測的研究の推進に意欲的に取り組めること。
 - ・米欧の外国人との共同作業ができる程度の英語力を有すること。
 - ・EA-ARC および他の ARC スタッフと協力・協調して、科学評価活動およびユーザー支援業務に意欲的に取り組めること。
7. (1) 履歴書, (2) 関連するこれまでの研修業績および研究論文リスト, (3) 主要論文別刷3編, (4) 抱負を含む研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方の氏名と連絡先 (複数)
 8. 2010 年9月30日 (木) 必着
 9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室長 立松健一
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室 奥村幸子
Tel: 0422-34-3782
e-mail: sachiko.k.okumura@nao.ac.jp
 10. 封筒の表に「ALMA 特任助教 (ARC サポート・アストロノマー) 人事応募書類」と明記して送付してください。採用は国立天文台運営会議の審査により決定します。選考にあたっては面接を行う場合があります。なお、処遇、勤務形態は特定契約職員 (大学共同利用機関法人自然科学研究機構特定契約職員就業規則による) と同じであり、勤務時間は原形労働制、着任旅費は支給されない等、助教とは差異があるにご注意ください。

研究助成

2010 年度「朝日賞」候補者の推薦について

朝日新聞文化事業本部より標記の依頼がきておりません。推薦票は天文学会事務所にあります。また、下記 URL よりダウンロードできます。キーワード (パスワード) は下記事務局までお問い合わせください。

1. 候補者の対象: 人文や自然科学など、わが国のさまざまな分野で傑出した業績を上げ、文化・社会の発展向上に多大な貢献をされた個人または団体。
 2. 締切: 2010 年8月31日 (火)「朝日賞」係必着
 3. 発表: 2011 年元旦の朝日新聞紙上
- 問合せおよび送付先: 〒104-8011 東京都中央区築地 5

-3-2

朝日新聞社事業本部メセナ・スポーツ部
「朝日賞」事務局

Tel: 03-5540-7453 Fax: 03-3541-8999

URL: <http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/suisen>

第13回大学婦人協会守田科学研究奨励賞 受賞候補者募集要項

趣旨: 本賞は、化学教育者・故 守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対象: 自然科学分野において、優れた研究成果を上げており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満(応募締切日現在)の女性科学者を対象としています。

授賞件数: 年2件以内、賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類: 1. 研究題目とその概要および今後の展望と抱負を記したもの(A4判2頁以内)、2. 推薦状、3. 履歴書(写真添付)、4. 研究業績リスト、5. 主要な論文別刷5編以内、それぞれ3部(コピーでも可、返却せず)

応募締切日: 2010年11月30日(火)(必着)

書類送付先・連絡先: 社団法人大学婦人協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11-6-101

Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889

<http://www.jauw.org>

e-mail: jauw@jauw.org

研究会・集案案内

京都大学花山天文台一般公開のお知らせ

京都大学花山天文台では、来たる10月24日に一般公開を行います。

施設の公開・展示陳列と天体観望会を行い、また、ネットワークを経由して飛騨天文台で観測された天体画像をリアルタイムで上映します。

花山・飛騨天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明しますので、お気軽にお申込みください。(入場無料)

日時: 2010年10月24日(日)13時~20時30分

内容: 望遠鏡による天体観望(昼:太陽,夜:木星など)。講演会。

4次元デジタル宇宙シアター(国立天文台開発のミタカに、京大発のコンテンツを追加し、宇宙を立体視)。

太陽黒点スケッチや工作などの各種体験コーナー。

交通機関: 京都市営地下鉄東西線蹴上駅(1番出口)よりシャトルバス(300円(往復))を運行します。自家用車でもお越しいただけますが、駐車場の数に限りがありますので、なるべくシャトルバスをご利用ください。

申込方法: インターネットでの事前申込みが必要です。

花山天文台のホームページ

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

申込受付期間: 9月1日(水)~9月24日(金)[定員に達し次第締切]

定員: 先着500名

45cm屈折望遠鏡による観望は抽選100名(対象年齢:小学生以上)

抽選結果は10月上旬に返信します。

問合せ: Tel: 075-581-1235

e-mail: kwasan2010@kwasan.kyoto-u.ac.jp

e-mailの場合、件名を「10/24一般公開」としてください。

主催: 京都大学大学院理学研究科附属天文台, NPO 法人花山星空ネットワーク

後援: 京都府教育委員会, 京都市教育委員会

グローバルCOEプログラム

「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」

市民講座「宇宙と物質の謎に迫る」第3回

2008年度から新しくスタートしたグローバルCOEプログラム「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」では、物理学における最先端の成果を広く一般市民の方々に知っていただくため、第3回市民講座を開催します。これは21世紀COEプログラム「物理学の多様性と普遍性の探究拠点」の主催で2007年まで5回にわたり行われてきた市民講座の後を引き継ぐもので、京都大学の三人の先生方に最新の話題についてわかりやすく解説していただきます。

日時: 2010年10月30日(土)午後1時~5時半

会場: 京都大学百周年時計台記念館(大ホール)

講演プログラム

1. 太田隆夫(おおた たかお)(京都大学理学部物理学第一教室 教授)
「地球上はソフトマターで満ちている」
2. 畑 浩之(はた ひろゆき)(京都大学理学部物理学第二教室 教授)
「スーパーストリングー奇跡の究極理論」
3. 一本 潔(いちもと きよし)(京都大学理学部飛騨天文台 教授)
「母なる星太陽の謎」

講演会終了後、午後5時半から6時半まで、講師の方々々と歓談できる簡単な茶話会を開く予定です。

対 象: 中高生以上

受講料: 無料(ただし、茶話会については実費として500円を当日いただきます。)

定 員: 500名(申込み多数の場合は、申込みハガキまたは電子メール先着順)

申込方法: 往復ハガキまたは電子メールに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、茶話会への出席希望の有無、をご記入のうえ、下記宛にお送りください。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科 物理学教室内
グローバル COE 事務局
市民講座係「宇宙と物質の謎に迫る」係
e-mail: gcoe-shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp

申込締切: 10月25日(月) 必着

交 通: 会場の京都大学時計台記念館には公共交通機関でお越しください。(バス停: 京大正門前より徒歩五分)

講演に関する問合せ先:

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科 物理学教室内
グローバル COE 事務局
Tel: 075-753-3758

主 催: 京都大学グローバル COE「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」

<http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/gcoe/>

後 援: 京都新聞社、物理教育学会、天文教育普及研究会、京都市教育委員会、京都府教育委員会

世話人: 太田耕司(京大理宇宙物理学教室)、国友 浩(京大基礎物理学研究所)、國廣梯二(京大理物理学第二教室)、柴田一成(京大理附属天文台)、高西陽一(京大理物理学第一教室)、鶴剛(京大理物理学第二教室)

第6回最新の天文学の普及をめざすワークショップ

〈参加者募集〉

国立天文台では、プラネタリウムや公開天文台など、天文教育担当者を対象に第6回最新の天文学の普及をめざすワークショップを下記の要領により開催いたします。

記

日 程: 2010年11月22日(月)~24日(水)

場 所: 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
〒252-5210 相模原市中央区由野台 3-1-1
Tel: 042-751-3911 (代表)

相模原市立博物館

〒252-0221 相模原市中央区高根 3-1-15

Tel: 042-750-8030

対 象: プラネタリウム・公開天文台・科学館職員・学校等の職員で天文学の普及にかかわっている方および科学教育普及に興味をもつ学生

募集予定定員: 30名

参加費: 無料、ただし別途食費、懇親会費等実費を納めていただきます。

宿 泊: 基本的には各自で確保精算をお願いします。宇宙研ロッジに若干数の部屋を確保していますので必要な方はご相談ください。

応募方法: 希望者は氏名、連絡先、e-mail アドレス、所属を明記して、レポート「惑星探査への興味」(A4, 1 ページ程度)を添付して9月25日までに下記宛先へお送りください。参加者選考結果は10月5日に本人あて通知します。

応募締切: 2010年9月25日(土)

応募先: 郵送またはメール

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台天文情報センター「最新の天文学の普及をめざすワークショップ」係

e-mail: shoichi.itoh@nao.ac.jp

主 催: 自然科学研究機構 国立天文台

共催(予定): 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、天文教育普及研究会

後 援: 日本天文学会、相模原市教育委員会

ワークショップの目標

- (1) 最近の惑星探査の成果をプラネタリウム、公開天文台、科学館あるいは学校などの教育で活用してもらうため
- (2) 惑星探査を理解するためのフレームワーク作り

のため

- (3) 研究者ならびに関係者とのコラボレーションのため

主な内容 (予定)

- ・比較惑星学
- ・惑星大気の観測について
- ・あかつき (PLANET-C) 計画とそれによる観測
- ・ベピ・コロポ水星探査計画など JAXA における惑星探査
- ・はやぶさミッション概要
- ・SPRINT-A など宇宙からの惑星観測
- ・その他実習および試験設備およびあかつき運用管制室見学等

問合せ先: 〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1

自然科学研究機構国立天文台

天文情報センター 伊東昌市

Tel: 0422-34-3748 Fax: 0422-34-3810

e-mail: shoichi.itoh@nao.ac.jp

会務案内

【2010 年度秋季通常総会開催のお知らせ】

正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 國枝秀世
一綴じ込みの返信用葉書で 9 月 15 日 (水) までに到着
するようにご投票を！—

下記のとおり 2010 年度秋季通常総会を開催いたしますので、ご出席くださるようご案内申し上げます。総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の 5 分の 1 以上の出席が必要です (定款第 42 条)。欠席される場合には、下記の議案をよくお読みのうえ、次の (1) または (2) のどちらかの対応をしてください。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書 (以下「葉書」と呼ぶ) を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。

「葉書」は、9 月 15 日 (水) までに天文学会事務所に到着するように投函してください。「葉書」には切手を貼る必要はありません。

○「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出してください。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案につ

いて「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んでください。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務所宛にお送りください。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えられません。

- 1) 会員番号、住所 (または勤務先) の両方を欠くもの。
- 2) 氏名を自署していないもの。
- 3) 投票権のない者からの投票 (正会員以外の者)。
- 4) 二重投票。

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所 (または勤務先) の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの。

○2010 年度秋季通常総会

日 時: 2010 年 9 月 23 日 (木)

総会出席者確認: 15:30~16:00

総会開始: 16:00~

場 所: 金沢大学自然科学大講義棟 (大講義室 A)

注 意: 総会出席確認作業の時間中に会場へ入場してください。確認された方には表決のときに必要な札をお渡しします。

○議案と報告 (本誌 582 頁から 592 頁まで参照)

議案:

- 第 1 号議案 2011 年度事業計画書 (案) の承認
- 第 2 号議案 2011 年度収支予算書 (案) の承認
- 第 3 号議案 2011-2012 期役員 (理事長以下各理事、監事)
- 第 4 号議案 2011-2012 期選挙管理委員
- 第 5 号議案 新規細則制定 (役員無報酬の明記)

報告:

1. 次期理事長選任経過
2. 2011-2012 期各種委員会メンバー
3. 日本学術会議報告
4. その他

【第1号議案】

日本天文学会 2011 年度（2011 年 1 月 1 日～
2011 年 12 月 31 日）事業計画書案

1. 出版物の刊行（定款第 2 章第 5 条 2, 3 項に該当の事業）

- 1) 欧文研究報告
第 63 巻 1 号～第 63 巻 6 号, 隔月刊 (+ 特集号)
A4 判, 発行部数 1,700, 年間 2,000 ページ予定
- 2) 天文月報
第 104 巻 1 号～第 104 巻 12 号, 月刊 B5 判, 発行部数 3,200, 毎号 64 ページを予定
- 3) 年会講演予稿集
春・秋季年会の講演予稿集を計 2 冊, 発行部数各 850 を予定
- 4) ジュニアセッション予稿集
春季年会時のジュニアセッション予稿集 1 冊, 発行部数 500 を予定
- 5) 公開講演会パンフレット
春・秋季年会時の公開講演会の際に配付するパンフレット, 各 400 部を予定

2. 年会の開催（定款第 2 章第 5 条 1 項に該当の事業）

年会は、天文学分野に関する研究教育活動の発表の場であり、年に 2 回春と秋に開催する。

- 1) 春季年会: 2011 年 3 月 16 日(水)～19 日(土), 筑波大学(茨城県つくば市, 開催地理事: 梅村雅之)にて、ジュニアセッション, 天文教育フォーラム, 公開講演会(3 月 20 日)も併せて開催。
- 2) 秋季年会: 2011 年 9 月 20 日(火)～22 日(木), 東北大学(宮城県仙台市, 開催地理事: 山田亨)にて、ジュニアセッション(ポスターのみ), 天文教育フォーラム, 公開講演会(9 月 23 日)も併せて開催。

3. 総会, 理事会, 評議員会, 監査

- 1) 総会
年に 2 回, 春・秋季年会中に開催。正会員で組織される, 事業・予算等の重要事項を議決する会合。
- 2) 理事会
1 月, 6 月および春・秋季年会中に計 4 回開催する。15 名の理事(理事長, 副理事長 2 名, 庶務理事 2 名, 会計理事 2 名, PASJ 理事, 月報理事, 年会実行理事, 天文教育理事, 年会開催地理事 4 名: 各理事は任期 2 年の第 1 年目に当た

る)から構成され、本会の活動に関する諸問題の報告・議決が行われ、事業遂行・方針決定のための中心的役割を担う。

3) 評議員会

1 月, 6 月および春・秋季年会中に計 4 回開催する。会員の投票による選挙で選任された 20 名の評議員(任期 4 年で半数の 10 名は 2 年ごとに改選)から構成され、広い視野をもつ有識者としての会員の立場から、本会の事業活動・収支予算等に関する審議が行われ、理事会からの提案に対する議決もなされる。本年 5 月には全体の半数 10 名の改選選挙が行われる。

4) 監査

年度初めの 1 月に行う。2 名の監事(任期 2 年の第 1 年目に当たる)が、前年度の本会の財産状況と業務執行状況の報告が適切かどうかの監査を行うもので、3 月の春季総会でその結果を報告する。

4. 各委員会

本年度は 16 の委員会等を置き、構成メンバーにより各種活動を行う。任期 2 年の第 1 年目に当たる。

- 1) 欧文研究報告編集顧問: 10 名
 - 2) 欧文研究報告編集委員会: 13 名
 - 3) 天文月報編集委員会: 11 名
 - 4) 年会実行委員会: 10 名
 - 5) 天文教育委員会: 9 名
 - 6) 選挙管理委員会: 5 名
 - 7) 林 忠四郎賞選考委員会(欧文研究報告論文賞の選考も兼ねる): 4 名
(+理事長が *ex officio*)
 - 8) 研究奨励賞選考委員会: 6 名
 - 9) 天体発見賞選考委員会(天文功労賞の選考も兼ねる): 6 名
 - 10) 内地留学奨学金選考委員会: 6 名
 - 11) 早川幸男基金選考委員会: 5 名
 - 12) ネットワーク委員会: 2 名
 - 13) 天文教材委員会: 7 名
 - 14) ジュニアセッション実行委員会: 6 名
 - 15) 男女共同参画委員会: 6 名
 - 16) 衛星設計コンテスト推進委員会: 4 名
5. 各賞の授与(定款第 2 章第 5 条 5 項に該当の事業)

- 1) 天体発見賞・天体発見功労賞
新星, 超新星, 彗星など新天体の発見者に対して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する。
- 2) 日本天文学会研究奨励賞
特に顕著な研究成果を上げた 35 歳以下の若手

- 研究者（3名以内）に、研究奨励賞を授与する。
- 3) 日本天文学会 林 忠四郎賞
天文学の分野において、独創的でかつ分野に寄与するところの大きい研究者に対して林忠四郎賞を授与する（1件）。
 - 4) 日本天文学会欧文研究報告論文賞
日本天文学会欧文研究報告に掲載された論文の中から、特に優れた論文の著者に対して欧文研究報告論文賞を授与する（2編以内）。
 - 5) 日本天文学会天文功労賞
天体観測活動等によって、天文学の進歩および普及への顕著な寄与をなした者に対して授与する（長期的業績1名、短期的業績若干名）。
6. 助成金（定款第2章第5条5,7項に該当の事業）
- 1) 内地留学奨学金受給者の募集（主にアマチュアを対象）を行い、年内に選考し若干名に奨学金を支給する。
 - 2) 早川幸男基金により、若手天文研究者の海外に於ける観測、国際共同研究、もしくは研究発表のための渡航費・滞在費等の援助を行う。
- 3) 賛助会員会費により、大学院生等の年会（春秋）発表者の旅費補助をする。
7. 後援事業等（定款第2章第5条6項に該当の事業）
他の学術団体等の天文関係諸企画に対して、可能な限り後援・協賛等をする。
8. 各賞への候補者の推薦（定款第2章第5条5項に該当の事業）
民間財団等の、研究助成公募および天文学に関連した賞に対して、本会で公募して理事長・副理事長が中心になって選考した優れた候補者を積極的に推薦する。
9. 事務所活動
日本天文学会事務所（東京都三鷹市大沢、国立天文台内）において、事務長を含む常勤職員2名と約10名の非常勤職員が、会員管理業務、天文月報・欧文報告の編集作業、年会の準備運営事務など、本会の事業に関する実際的な業務活動を行う。

以上

【第2号議案】

日本天文学会 2011 年度収支予算書 (案)
2011 年 1 月 1 日～2011 年 12 月 31 日まで (単位: 円)

《一般会計》		科 目		予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I	事業活動収支の部						
1.	事業活動収入						
①	基本財産運用収入	55,000	85,000	△30,000			
②	特定資産運用収入	29,000	35,000	△6,000			
	退職給付引当預金利息収入	5,000	0	5,000			
	減価償却引当預金利息収入	24,000	35,000	△11,000			
③	会費収入	39,490,000	38,640,000	850,000			
	正会員会費収入	25,020,000	25,020,000	0			
	学生会員会費収入	4,394,000	3,640,000	754,000			
	准会員会費収入	9,696,000	9,600,000	96,000			
	団体会員会費収入	380,000	380,000	0			
④	事業収入	33,186,500	27,048,800	6,137,700			
	・欧文事業収入	20,681,500	14,968,800	5,712,700			
	購読料収入	4,462,500	3,822,000	640,500			
	掲載料収入	14,119,000	9,676,800	4,442,200			
	別刷代収入	2,100,000	1,470,000	630,000			
	・月報事業収入	3,450,000	3,350,000	100,000			
	購読料収入	600,000	600,000	0			
	別刷代収入	750,000	750,000	0			
	広告料収入	2,100,000	2,000,000	100,000			
	・年会事業収入	8,326,000	8,000,000	326,000			
	予稿集頒布収入	1,576,000	1,150,000	426,000			
	登録料収入	6,500,000	6,600,000	△100,000			
	年会雑収入	250,000	250,000	0			
	・印税収入	530,000	530,000	0			
	星座早見印税収入	500,000	500,000	0			
	その他の印税収入	30,000	30,000	0			
	・その他の事業収入	200,000	200,000	0			
	普及物品頒布収入	200,000	200,000	0			
⑤	補助金収入	8,900,000	8,000,000	900,000			
	・国庫補助金収入	8,500,000	8,000,000	500,000			
	刊行物補助金収入	7,500,000	8,000,000	△500,000			
	公開講演会補助金収入	1,000,000	0	1,000,000			
	・地方公共団体補助金収入	400,000	0	400,000			
	年会補助金(春・秋)収入	400,000	0	400,000			
⑥	寄付金収入	150,000	150,000	0			
⑦	雑収入	587,000	243,000	344,000			
	受取利息収入	37,000	43,000	△6,000			
	事務手数料収入	350,000	0	350,000			
	その他の収入	200,000	200,000	0			
	事業活動収入計	82,398,500	74,201,800	8,196,700			
							注1
							注2
2.	事業活動支出						
①	事業費支出	65,186,748	57,585,400	7,601,348			
	・欧文事業費支出	34,501,748	28,625,400	5,876,348			
	直接印刷費支出	19,564,748	15,416,600	4,148,148			
	別刷印刷費支出	315,000	220,500	94,500			
	人件費支出	6,100,000	6,100,000	0			
	謝金支出	6,640,000	4,570,300	2,069,700			
	送料運搬費支出	1,336,000	1,692,000	△356,000			
	消耗品費支出	170,000	250,000	△80,000			
	雑支出	376,000	376,000	0			
	・月報事業費支出	15,700,000	16,100,000	△400,000			
	直接出版費支出	8,700,000	9,000,000	△300,000			
	別刷印刷費支出	500,000	500,000	0			
	人件費支出	1,300,000	1,300,000	0			
	謝金支出	1,500,000	1,500,000	0			
	送料運搬費支出	3,000,000	3,000,000	0			
	消耗品費支出	600,000	500,000	100,000			
	雑支出	100,000	300,000	△200,000			
	・年会事業費支出	9,750,000	9,150,000	600,000			
	予稿集印刷費支出	2,300,000	2,300,000	0			
	人件費支出	1,300,000	1,300,000	0			
	謝金支出	1,650,000	1,650,000	0			
	会場費支出	2,800,000	2,100,000	700,000			
	旅費交通費支出	400,000	500,000	△100,000			
	送料運搬費支出	300,000	300,000	0			
	消耗品費支出	300,000	300,000	0			
	保育室運営経費支出	500,000	500,000	0			
	雑支出	200,000	200,000	0			
	・その他の事業費支出	5,235,000	3,710,000	1,525,000			
	天体発見賞経費支出	900,000	900,000	0			
	公開講演会経費支出	2,111,000	1,530,000	581,000			
	普及物品制作費支出	70,000	70,000	0			
	衛星設計コンテスト経費支出	60,000	60,000	0			
	ジュニアセッション経費支出	600,000	500,000	100,000			
	天文教育フォーラム経費支出	344,000	0	344,000			
	講師派遣プロジェクト経費支出	150,000	150,000	0			
	広報活動経費支出	500,000	0	500,000			
	世界天文年展示経費支出	500,000	500,000	0			
②	管理費支出	18,112,000	18,570,000	△458,000			
	給与手当支出	8,900,000	8,900,000	0			
	退職給付支出	0	0	0			
	法定福利費支出	1,350,000	1,350,000	0			
	会議費支出	250,000	250,000	0			
	旅費交通費支出	1,150,000	1,200,000	△50,000			
	送料通信費支出	900,000	900,000	0			
							巡回展覧会費用

(注) 前年度予算額は、前年度の収支予算書の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

* 当会の予算案は前年度の決算前に立案されている。予算案の前期繰越収支差額は、前々年度の決算額に前年度予算額の当期収支差額を加えたものとなっている。

- 注1 年会と連絡済 予稿集 2,000 円で冊数減の予想
- 注2 筑波大学科研費決定 1,000,000 円分
- 注3 2011 年は名簿発行なしのため減額
- 注4 家賃値上げ+宛名印刷機リース代値上げ分
- 注5 公認会計士への支払い分

昨年の予算のうち、科目変更により次の科目は来年度予算の科目に合わせました。
 収入の部…事業収入-その他の事業収入-普及物品頒布収入 (以前は雑収入-特別企画収入)
 支出の部…事業費-その他の事業費-天体発見賞諸経費支出 (以前は管理費)

- 公開講演会諸経費支出 (以前は管理費)
- 普及物品制作費支出 (以前は管理費-特別企画調整費)
- 衛星設計コンテスト経費支出 (以前は管理費)
- 天文教育フォーラム経費支出 (新規)
- 講師派遣プロジェクト経費支出 (以前は管理費)
- 広報活動経費支出 (新規)
- 世界天文年展示経費支出 (以前は管理費)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
消耗什器備品費支出	250,000	400,000	△150,000	
消耗品費支出	700,000	700,000	0	
修繕費支出	30,000	30,000	0	
印刷製本費支出	400,000	1,250,000	△850,000	注3
書籍購入費支出	2,000	10,000	△8,000	
光熱水料費支出	300,000	300,000	0	
賃借料支出	2,200,000	1,800,000	400,000	注4
保険料支出	15,000	15,000	0	
謝金支出	300,000	200,000	100,000	注5
諸手数料支出	350,000	350,000	0	
租税公課支出	500,000	500,000	0	
負担金支出	15,000	15,000	0	
徴収不能額	100,000	0	100,000	
雑支出	400,000	400,000	0	
事業活動支出計	83,298,748	76,155,400	7,143,348	
事業活動収支差額	△900,248	△1,953,600	1,053,352	
II 投資活動収入の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	453,200	429,200	24,000	
• 特定資産取得支出	429,200	429,200	0	
退職給付引当預金取得支出	24,000	0	24,000	
減価償却引当預金取得支出	0	400,000	△400,000	
• 固定資産取得支出	0	400,000	△400,000	
什器備品購入支出	453,200	829,200	△376,000	
• 投資活動支出計	△453,200	△829,200	376,000	
投資活動収支差額				
III 財務活動収入の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	100,000	0	100,000	
IV 予備費支出	△1,453,448	△2,782,800	1,329,352	
当期収支差額	* 14,516,920	14,677,751	△160,831	
前期繰越収支差額	13,063,472	11,894,951	1,168,521	
次期繰越収支差額				

《学術交流費會計》

2011年1月1日～2011年12月31日まで (単位: 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	1,200,000	1,200,000	0	
賛助会員会費収入	1,200,000	1,200,000	0	
② 雑収入	2,500	5,000	△2,500	
受取利息収入	2,500	5,000	△2,500	
事業活動収入計	1,202,500	1,205,000	△2,500	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	1,196,500	1,230,000	△33,500	
学術交流費支出	1,196,500	1,230,000	△33,500	
② 管理費支出	6,000	3,000	3,000	
雑支出	6,000	3,000	3,000	
事業活動支出計	1,202,500	1,233,000	3,000	
事業活動収支差額	0	△28,000	△30,500	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	* 3,770,630	3,879,324	△108,694	
前期繰越収支差額	3,770,630	3,851,324	△80,694	
次期繰越収支差額				

当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。便直上、繰越収支差額は前々年度決算額次期繰越収支差額-前年度予算額当期収支差額を用いている。

《内地留学奨学金基金會計》

2011年1月1日～2011年12月31日まで (単位: 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 特定資産運用収入	5,000	0	5,000	
内地留学奨学金積立資産利息収入	5,000	0	5,000	
② 雑収入	0	5,000	△5,000	
受取利息収入	0	5,000	△5,000	
事業活動収入計	5,000	5,000	0	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	250,000	250,000	0	
内地留学奨学金支出	250,000	250,000	0	
② 管理費支出	2,000	2,000	0	
雑支出	2,000	2,000	0	
事業活動支出計	252,000	252,000	0	
事業活動収支差額	△247,000	△247,000	0	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	247,000	0	247,000	
内地留学奨学金積立資産取崩収入	247,000	0	247,000	
投資活動収入計	247,000	0	247,000	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	247,000	0	247,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	* 0	2,442,538	△2,442,538	
前期繰越収支差額	0	2,195,538	△2,195,538	
次期繰越収支差額				

当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。便直上、前期繰越収支差額は前々年度決算額次期繰越収支差額-前年度予算額当期収支差額を用いている。ただし、2011年度予算は2010年決算で次期繰越収支差額を0にするので、2011年予算の前期繰越収支差額を0とする。

《研究奨励賞基金会計》

2011年1月1日～2011年12月31日まで (単位: 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	1,000	0	1,000	
研究奨励賞積立資産利息収入	1,000	0	1,000	
②雑収入	0	1,000	△1,000	
受取利息収入	1,000	1,000	△1,000	
事業活動収入計	300,000	300,000	0	
事業活動支出	300,000	300,000	0	
①事業費支出	80,000	80,000	0	
②管理費支出	50,000	50,000	0	
旅費交通費支出	30,000	30,000	0	
雑支出	380,000	380,000	0	
事業活動支出計	△379,000	△379,000	0	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	379,000	0	379,000	
研究奨励賞積立資産取崩収入	379,000	0	379,000	
投資活動収入計	379,000	0	379,000	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	379,000	0	379,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	△379,000	379,000	
当期収支差額	*0	3,794,680	△3,794,680	
前期繰越収支差額	0	3,415,680	△3,415,680	
次期繰越収支差額				

当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。便宜上、前期繰越収支差額は前々年度決算額次期繰越収支差額－前年度予算額当期収支差額を用いている。ただし、2011年度予算は2010年決算で次期繰越収支差額を0にするので、2011年予算の前期繰越収支差額を0とする。

《早川幸男基金会計》

2011年1月1日～2011年12月31日まで (単位: 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	182,000	0	182,000	
早川幸男基金積立資産利息収入	1,000,000	0	182,000	
②寄付金収入	1,000,000	1,000,000	0	
寄付金収入	0	1,000,000	△182,000	
③雑収入	0	182,000	△182,000	
受取利息収入	0	182,000	△182,000	
事業活動収入計	1,182,000	1,182,000	0	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	2,700,000	2,700,000	0	
早川幸男基金支出	2,700,000	2,700,000	0	
②管理費支出	10,000	10,000	0	
雑支出	10,000	10,000	0	
事業活動支出計	2,710,000	2,710,000	0	
事業活動収支差額	△1,528,000	△1,528,000	0	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	1,528,000	0	1,528,000	
早川幸男基金積立資産取崩収入	1,528,000	0	1,528,000	
投資活動収入計	1,528,000	0	1,528,000	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	1,528,000	0	1,528,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	△1,528,000	1,528,000	
当期収支差額	*0	39,959,683	△39,959,683	
前期繰越収支差額	0	38,431,683	△38,431,683	
次期繰越収支差額				

当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。便宜上、前期繰越収支差額は前々年度決算額次期繰越収支差額－前年度予算額当期収支差額を用いている。ただし、2011年度予算は2010年決算で次期繰越収支差額を0にするので、2011年予算の前期繰越収支差額を0とする。

《林 忠 四 郎 賞 基 金 会 計》

2011年1月1日～2011年12月31日まで (単位: 円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入	30,000	0	30,000	
①特定資産運用収入	30,000	0	30,000	
林忠四郎賞積立資産利息収入	0	72,000	△72,000	
②雑収入	0	72,000	△72,000	
受取利息収入	30,000	72,000	△42,000	
事業活動収入計	300,000	300,000	0	
2. 事業活動支出	300,000	300,000	0	
①事業費支出	120,000	120,000	0	
林忠四郎賞支出	100,000	100,000	0	
②管理費支出	20,000	20,000	0	
旅費交通費支出	420,000	420,000	0	
雑支出	△390,000	△348,000	△42,000	
事業活動支出計	390,000	0	390,000	
事業活動収支差額	390,000	0	390,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	390,000	0	390,000	
特定資産取崩収入	390,000	0	390,000	
林忠四郎賞積立資産取崩収入	390,000	0	390,000	
投資活動収入計	0	0	390,000	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	390,000	0	390,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	△348,000	348,000	
当期収支差額	*0	11,626,058	△11,626,058	
前期繰越収支差額	0	11,278,058	△11,278,058	
次期繰越収支差額				

当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。便直上、前期繰越収支差額は前々年度決算額次期繰越収支差額-前年度予算額当期収支差額を用いている。
ただし、2011年度予算は2010年決算で次期繰越収支差額を0にするので、2011年予算の前期繰越収支差額を0とする。

《創立 100 周年記念出版事業基金会計》

2011年1月1日～2011年12月31日まで (単位: 円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入	10,000	0	10,000	
①特定資産運用収入	10,000	0	10,000	
創立100周年記念出版事業積立資産利息収入	0	3,000	△3,000	
②雑収入	0	3,000	△3,000	
受取利息収入	10,000	3,000	7,000	
事業活動収入計	120,000	120,000	0	
2. 事業活動支出	100,000	100,000	0	
①管理費支出	20,000	20,000	0	
旅費交通費支出	120,000	120,000	0	
雑支出	△110,000	△117,000	7,000	
事業活動支出計	110,000	0	110,000	
事業活動収支差額	110,000	0	110,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	110,000	0	110,000	
特定資産取崩収入	110,000	0	110,000	
創立100周年記念出版事業積立資産取崩収入	110,000	0	110,000	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	110,000	0	110,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	△117,000	117,000	
財務活動収支差額	*0	2,289,212	△2,289,212	
当期繰越収支差額	0	2,172,212	△2,172,212	
次期繰越収支差額				

当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。便直上、前期繰越収支差額は前々年度決算額次期繰越収支差額-前年度予算額当期収支差額を用いている。
ただし、2011年度予算は2010年決算で次期繰越収支差額を0にするので、2011年予算の前期繰越収支差額を0とする。

収支予算書総括表
2011年1月1日～2011年12月31日まで (単位:円)

科 目	一般会計	学術交流費 会計	内地留学奨学金 基金会計	研究奨励賞基金 会計	早川幸男基金 会計	林忠四郎賞基金 会計	創立100周年 記念出版事業 基金会計	内部取引 消去	合 計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
①基本財産運用収入	55,000	0	0	0	0	0	0		55,000
基本財産利息収入	55,000	0	0	0	0	0	0		55,000
②特定資産運用収入	29,000	0	5,000	1,000	182,000	30,000	10,000		257,000
退職給付引当預金利息収入	5,000	0	0	0	0	0	0		5,000
減価償却引当預金利息収入	24,000	0	0	0	0	0	0		24,000
内地留学奨学金積立資産利息収入	0	0	5,000	1,000	0	0	0		5,000
研究奨励賞積立資産利息収入	0	0	0	0	0	0	0		1,000
早川幸男基金積立資産利息収入	0	0	0	0	182,000	0	0		182,000
林忠四郎賞積立資産利息収入	0	0	0	0	0	30,000	10,000		30,000
創立100周年記念出版事業積立資産利息収入	0	0	0	0	0	0	0		10,000
③会費収入	39,490,000	1,200,000	0	0	0	0	0		40,690,000
正会員会費収入	25,020,000	0	0	0	0	0	0		25,020,000
学生会員会費収入	4,394,000	0	0	0	0	0	0		4,394,000
準会員会費収入	9,696,000	0	0	0	0	0	0		9,696,000
団体会員会費収入	380,000	0	0	0	0	0	0		380,000
賛助会員会費収入	0	1,200,000	0	0	0	0	0		1,200,000
④事業収入	33,187,500	0	0	0	0	0	0		33,187,500
欧文事業収入	20,681,500	0	0	0	0	0	0		20,681,500
月報事業収入	3,450,000	0	0	0	0	0	0		3,450,000
年会事業収入	8,326,000	0	0	0	0	0	0		8,326,000
印税収入	530,000	0	0	0	0	0	0		530,000
その他の事業収入	200,000	0	0	0	0	0	0		200,000
⑤補助金収入	8,900,000	0	0	0	0	0	0		8,900,000
国庫補助金収入	8,500,000	0	0	0	0	0	0		8,500,000
地方公共団体補助金収入	400,000	0	0	0	0	0	0		400,000
⑥寄付金収入	150,000	0	0	0	1,000,000	0	0		1,150,000
寄付金収入	150,000	0	0	0	1,000,000	0	0		1,150,000
⑦雑収入	587,000	2,500	0	0	0	0	0		589,500
受取利息収入	37,000	2,500	0	0	0	0	0		39,500
事務手数料収入	350,000	0	0	0	0	0	0		350,000
その他の収入	200,000	0	0	0	0	0	0		200,000
事業活動収入計	82,398,500	1,202,500	5,000	1,000	1,182,000	30,000	10,000		84,829,000
2. 事業活動支出									
①事業費支出	65,186,748	1,196,500	250,000	300,000	2,700,000	300,000	0		69,933,248
欧文事業費支出	34,501,748	0	0	0	0	0	0		34,501,748
月報事業費支出	15,700,000	0	0	0	0	0	0		15,700,000
年会事業費支出	9,750,000	0	0	0	0	0	0		9,750,000

その他の事業費支出	5,235,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,235,000	
学術交流費支出	0	1,196,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,196,500	
内地留学奨学金支出	0	0	250,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250,000	
研究奨励費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	
早川幸男基金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,700,000	
林忠四郎賞支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	
②管理費支出	18,112,000	6,000	2,000	80,000	10,000	100,000	120,000	120,000	120,000	120,000	100,000	100,000	120,000	120,000	120,000	100,000	100,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	18,450,000
給与手当支出	8,900,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,900,000
法定福利費支出	1,350,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,350,000
会議費支出	250,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250,000
旅費交通費支出	1,150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,400,000
送料通信費支出	900,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	900,000
消耗什器備品費支出	250,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250,000
消耗品費支出	700,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000
修繕費支出	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000
印刷製本費支出	400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400,000
書籍購入費支出	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000
光熱水料費支出	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000
賃借料支出	2,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,200,000
保険料支出	15,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000
謝金支出	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000
諸手数料支出	350,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	350,000
租税公課支出	500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500,000
負担金支出	15,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000
徴収不能額支出	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000
雑支出	400,000	6,000	2,000	30,000	10,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	488,000
事業活動支出計	83,298,748	1,202,500	252,000	380,000	2,710,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	88,383,248
事業活動収支差額	△900,248	0	△247,000	△379,000	△1,528,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△390,000	△3,554,248
II 投資活動収支の部																								
1. 投資活動収入																								
特定資産取崩収入	0	0	247,000	379,000	1,528,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	2,654,000
内地留学奨学金積立資産取崩収入	0	0	247,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247,000
研究奨励賞積立資産取崩収入	0	0	0	379,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	379,000
早川幸男基金積立資産取崩収入	0	0	0	0	1,528,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,528,000
林忠四郎賞積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	390,000
創立100周年記念出版事業積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,000
投資活動収入計	0	0	247,000	379,000	1,528,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	2,654,000
2. 投資活動支出																								
特定資産取得支出	453,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	453,200
退職給付引当預金取得支出	429,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	429,200
減価償却引当預金取得支出	24,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,000
投資活動支出計	453,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	453,200
投資活動収支差額	△453,200	0	247,000	379,000	1,528,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	2,200,800

【第3号議案】

新役員候補者

(任期: 2011年1月1日~2012年12月31日) 敬称略

1) 理事

理事長: 岡村定矩 (東京大学)
副理事長: 河合誠之 (東京工業大学)
杉山 直 (名古屋大学)
庶務理事: 本原顕太郎 (東京大学)
竹田洋一 (国立天文台, 留任)
会計理事: 松尾 宏 (国立天文台)
田代 信 (埼玉大学, 留任)

PASJ 理事: 茂山俊和 (東京大学)
月報理事: 柏川伸成 (国立天文台)
年会実行理事: 幸村孝由 (工学院大学)
天文教育理事: 吉川 真 (宇宙科学研究所)
年会開催地理事: 梅村雅之 (筑波大学)
山田 亨 (東北大学)
太田耕司 (京都大学)
仲野 誠 (大分大学)

2) 監事

牧島一夫 (東京大学)
紀伊恒男 (JAXA 宇宙科学研究所)

【第4号議案】

選挙管理委員候補者

(任期: 2011年1月1日~2012年12月31日) 敬称略

末松芳法 (委員長) 中島 紀, 工藤哲洋, 矢野太平,
酒向重行

【第5号議案】

社団法人 日本天文学会の役員の報酬・退職金に関する細則

平成22年10月1日 制定

(総則)

第1条 この規定は、役員の報酬に関し必要な事項を定めるものである。

(無報酬)

第2条 この法人の役員(理事及び監事)は、その在任中報酬を受けず、退任時において退職金は支給されない。

付則

この規定は、平成23年1月1日より施行する。

【報告1】

次期理事長選任経過

【報告2】

新委員会委員候補者

(○は委員長, ◎理事兼務, 敬称略)

(任期: 2011年1月1日~2012年12月31日)

- 1) 欧文研究報告編集顧問: 10名
有本信雄, 梅村雅之, 大橋隆哉, 桜井 隆,
佐藤勝彦, 柴橋博資, 蜂巢 泉, 花岡庸一郎,
福井康雄, 嶺重 慎
- 2) 欧文研究報告編集委員会: 13名
◎茂山俊和, 秋山正幸, 久野成夫, 鈴木英之,
田代 信, 戸谷友則, 中井直正, 永田伸一,
長滝重博, 野上大作, 花見仁史, 比田井昌英,
松下恭子
- 3) 天文月報編集委員会: 11名
◎柏川伸成, 浜名 崇, 鈴木 建, 徂徠和夫,
竹井 洋, 野田寛大, 山崎 了, 市来浄興,
廣田朋也, 前野将太, 勝川行雄
- 4) 年会実行委員会: 10名
◎幸村孝由, 小久保英一郎, 宮田隆志, 左近
樹, 峰崎岳夫, 久保雅仁, 田中邦彦, 土居明広,
鈴木知治, 奥村幸子
- 5) 天文教育委員会: 9名
◎吉川真, 綾仁一哉, 安藤享平*, 大朝由美子,
篠原秀雄*, 柴田晋平, 中道晶香, 西浦慎悟,
山岡 均
- 6) 選挙管理委員会: 5名 (再掲載)
○末松芳法, 中島 紀, 工藤哲洋, 矢野太平,
酒向重行,
- 7) 林 忠四郎賞選考委員会 (欧文研究報告論文賞
を含む): 5名
井上 一, 土佐 誠, 観山正見, 中井直正,
岡村定矩 (*ex-officio*)
- 8) 研究奨励賞選考委員会: 6名
○長田哲也, 小久保英一郎, 河野孝太郎, 北本
俊二, 千葉証司, 関井 隆
- 9) 天体発見賞選考委員会 (天文功労賞を含む): 6名
○渡部潤一, 綾仁一哉, 石田俊人, 河北秀世,
中村彰正, 野上大作
- 10) 内地留学奨学金選考委員会: 6名
○大島 修, 関口朋彦, 吉岡一男, 濤崎智佳,
野上大作, 松村雅文
- 11) 早川幸男基金選考委員会: 5名
○山内茂雄, 青木和光, 大西利和, 大向一行,
清水敏文
- 12) ネットワーク委員会: 2名

◎本原顕太郎, 鈴木知治

- 13) 天文教材委員会: 7名
○尾久土正己, 江越 航*, 竹内幹蔵, 前田良知, 水谷有宏, 秋山演亮, 西浦慎悟
- 14) ジュニアセッション実行委員会: 6名
○山岡 均, 石川直美*, 大西浩次, 篠原秀雄*, 西村昌能, 畠 浩二*
- 15) 男女共同参画委員会: 6名
○黒田武彦, 木村かおる*, 田代 信, 富田晃彦, 林 左絵子, 望月優子
- 16) 衛星設計コンテスト推進委員会: 4名
◎岡村定矩, 坂尾太郎, 村上敏夫, 江副祐一郎
(*準会員)

【報告3】

日本学術会議報告

【報告4】

その他

【理事会議事録】

日 時: 2010年6月19日(土)午後1時10分~6時

場 所: 八重洲ホール 5F 512 会議室

出席理事: 國枝, 渡邊, 柴田, 竹田, 高田, 田代, 田村, 堂谷, 半田, 小川, 藤沢, 小嶋, 藤本 (以上13名)

欠席理事: 児玉, 本間 (以上2名)

欠席の児玉月報理事の代理として月報編集委員会の柏川伸成氏が出席した。

また宮下事務長が出席した。

議事に先立って議長と署名人の確認がなされた。

議 長: 國枝秀世

署名人: 高田唯史, 竹田洋一

1. 報告

1-1. 前回議事録の確認

資料1に基づいて國枝理事長より前回(2010年3月26日)の理事会議事録が報告・確認された。

1-2. 次回の年会について

本年2010年秋季年会(金沢大, 9/22-24)の準備状況が藤本開催地理事より報告された。特に問題なく順調に進んでおり, あとはプログラム編成を待つのみ。石川県, 金沢市から助成金をもらえることになった。交通がやや不便なのでバスの増発も検討。公開講演会は時間割, 講演者(家 正則, 川口淳一郎, 村上敏夫の各氏), 講演題目も確定。

1-3. 担当理事からの近況報告

— 年会(竹田理事: 資料2の代読): 2012年春
季年会(京都大)の会場利用に金銭面・利便

性の問題が発生したので市内別大学の会場使用も検討中。

- 天文月報(柏川氏): 付録を付けるなどの新たな企画も検討中だが限られた予算との兼ね合いになる。原稿執筆者の便宜を図るために専用のTeX組版マクロを作成。
- 天文教育(半田理事): 天文教育フォーラムの準備(著作権がメインテーマ), 講師紹介プログラム, 巡回展広報の準備, ジュニアセッション実行体制の改革。
- PASJ(堂谷理事): PASJ紙版配布停止選択申込状況(予想より若干少ない), 特集号の今後の予定(飛驒, VERA, すばる, すざく)。
- 会員管理(竹田理事): Webページからのオンライン入会申請の開始。名簿作成基礎データ準備のため会員の意向調査スタート。

1-4. 新入会員等報告

竹田庶務理事から資料3に基づいて, 前回の理事会以降これまでに入会した新入会員(ならびに正⇔準の移動者と退会者)がまとめて報告された。

1-5. 次期理事長について

渡邊副理事長より資料4-1に基づき次期理事長公募の結果(推薦された候補者は岡村定矩氏のみであったので選挙は実施せず, 順当に進めば今後評議員会からの推薦を受けて総会で承認される見通し)が報告された。

1-6. 文科省実地検査報告

宮下事務長より資料5に基づき, 5月25日の文科省の実地検査で指摘された点が報告され, またそれに対してどう対処するかについての説明があった。

1-7. 企画巡回展

半田教育理事より, 昨年からの世界天文年の企画展の継続巡回状況と今後の予定(防府~金沢~浅口~新居浜~熊本)の説明があった。2011年5月で終了して各展示物は適宜引取先へ。

1-8. 七夕同時講演会

柴田副理事長より当日配付資料に基づき, 好評を博した昨年に続いて今年も開催する全国同時七夕講演会の概要と準備状況が報告された。関連話題で京都の小中高校生を対象に実施する出前天文授業についても言及あり。

1-9. 天文学会の体制案

資料4-2に沿って渡邊副理事長より来年度からの新役員体制の下での天文学会の事業に関する

役割分担の構想が説明された。また3年以内に決めねばならない法人移行の見通しについても言及があった。

- 1-10. 会員名簿関係
宮下事務長より、この秋に刊行する会員名簿に関する実務的な諸問題が指摘されそれに対して意見の交換があった（関連機関等の記載形式、ゲラの校正チェック、など）。
- 1-11. 日本天文連絡協議会への参加
日本の天文研究・教育・普及・アマチュア活動を結ぶ全国組織としてこの度新たに発足する日本天文連絡協議会に日本天文学会がいかにか協力すべきかについて、理事長を中心に意見の交換がなされた。また準備会議にも天文学会から代表を出すことで合意した。

2. 議題

- 2-1. 2011年度事業計画書案
2011年度事業計画書案について、竹田庶務理事より資料6に基づいて説明が行われ、文言・内容の若干修正を加えることで承認された。
- 2-2. 2011年度収支予算書案
田代会計理事より資料7に基づいて2011年度収支予算書案について説明が行われ承認された。やむをえない財政上の理由で予稿集価格を以前の2000円に戻すことも了承された。
- 2-3. 次期役員・委員
資料8に基づいて、次期（2011年1月1日～2012年12月31日）の新役員・委員の候補者について竹田庶務理事より紹介が行われた。全委員変更なしと申し出のあった一部委員会については、長年のメンバー固定は弊害ありとの理由で承認保留になったが（まず過去の継続状況を調べて場合によっては入れ替え打診もありうる）それ以外はそのまま了承された。
- 2-4. 秋季総会議題等
竹田庶務理事より、資料9に基づいて秋季年年会中に行われる総会における議題・報告についての案が示され、承認された。
- 2-5. PASJのE-Open オプション
資料10に沿って、堂谷PASJ理事からPASJのE-Open オプションの導入について説明され、了承された。（最新号を除き）出版後2年間はアクセス制限が設けられているPASJ電子版ファイルに関して、8万円（レターは4万円）の追加料金を著者が払えば最初から世界中の誰でもフリーにアクセスできるようにするというもの。E-Open という用語が商標登録されていないか

どうか確認する必要ありとの指摘があり、調べることになった。

- 2-6. 賛助会員勧誘について
学生の年会参加に際する旅費補助の財源（賛助会員の会費が原資）が不足している現状に鑑み、賛助会員をもっと増やすための勧誘を実施する案が資料11に沿って竹田庶務理事より説明され、承認された。また有望な勧誘候補となる企業・団体があれば具体的に挙げてほしいと各理事にも申し渡しがあった。
- 2-7. 百周年記念出版編集委員会の解散について
百周年記念出版編集委員会の岡村委員長から「現代の天文学シリーズが全巻完結して役目を終えたので委員会を解散したい」との申し出があった件について議論されたが、関連の特別会計予算は存続するのでこの執行のうえで必要になるのではないかと慎重意見もあり、今一度委員長の意向を伺ってみることにして結論は次回に持ち越しとなった。
- 2-8. 旅費規程について
前回の理事会からの継続審議となっていた当会の旅費規程の制定について田代会計理事より改定案（資料13）が提示され、意見交換の後に承認された。一方、実施に際しては必ずしも条文の細かい文言に厳しく捕らわれるものではなく、会計理事の判断による実情に即した柔軟な対応も可であることも確認された。
- 2-9. 役員の報酬・退職金に関する細則
文科省の実地検査からの指摘に基づき、宮下事務長より「役員は無報酬であり退職金も支払われない」ことを明記した新たな細則（資料14）を制定することが説明され、若干文言を修正して承認された。

[次回の理事会]

次回の理事会は秋季年年会の会期中9月22日（第一日目）の昼時に行われる。

[資料]

- 資料1. 前回理事会議事録
資料2. 年会理事関連の報告
資料3. 会員新規加入者、退会者等リスト
資料4-1. 来年度理事長について
資料4-2. 日本天文学会運営新体制（案）
資料5. 文部科学省実地検査で指摘された事項ならびに対応処置
資料6. 2011年度事業計画書案

- 資料 7. 2011 年度収支予算書案
 資料 8. 新役員・委員候補者リスト
 資料 9. 2010 年秋季定期総会議題等案
 資料 10. PASJ への E-Open オプション導入の提案
 資料 11. 賛助会員勧誘関連資料
 資料 12. 百周年記念出版編集委員会関連内規
 資料 13. 日本天文学会旅費規程案
 資料 14. 日本天文学会役員の報酬・退職金に関する細則
 当日配付: 全国同時七夕講演会関連資料

2010 年 7 月 3 日

議 長: 國枝秀世 @
 署名人: 高田唯史 @
 署名人: 竹田洋一 @

【評議員会議事録】

日 時: 2010 年 7 月 3 日 (土) 午後 1 時~5 時 10 分
 場 所: 東京大学理学部 1 号館 338 号室
 出席者: 伊藤, 岡村, 奥村, 牧島, 嶺重, 劉, 家,
 坂田, 杉山, 筒井, 望月 (以上 11 名)
 表決状提出者: 井上, 海部, 須藤, 渡部, 池内, 谷口,
 観山 (以上 7 名)
 欠席者: 佐藤, 山田 (以上 2 名)
 他に國枝理事長, 柴田・渡邊副理事長, 竹田・高田庶務
 理事, 田代・田村会計理事, 宮下事務長, が出席した。
 議事に先立ち, 出席者と表決状提出者を合わせて 18
 名となり定足数をみたし, 本会が成立することが確認
 され, 議長と署名人が選出された。
 議 長: 牧島一夫
 署名人: 家 正則, 伊藤紘子
 また資料 1 に基づいて前回 (2010 年 3 月 27 日) の評
 議員会議事録の確認が行われた。

1. 報告

1-1. 理事会報告

竹田庶務理事より 6 月 19 日に行われた理事会
 で報告・議決されたことが口頭で簡潔に報告さ
 れた。この種の報告はやはり手元に資料があっ
 たほうがよいとの意見が出され, これからは直
 近の理事会の議事録がほぼ完成している場合
 は, それを資料として添付することになった。

1-2. 来期新委員会メンバー

竹田庶務理事より資料 2 に基づき, 先日の理事
 会で承認されて決定した次期 (2011 年 1 月 1 日
 ~2012 年 12 月 31 日) の各種委員会新委員メン
 バーが報告された。これに関連して國枝理事長
 から, あまりに長期間連続で委員を務めている

方には交代してもらうようお願いしたケースが
 あったことについての補足説明もあった。

1-3. 若手の会からの報告

劉評議員より当日配付資料に基づき, 天文学会
 年会参加の際の学生会員への旅費補助制度につ
 いて若手の会メンバーに対して実施したアン
 ケートの結果が報告された。支援には感謝して
 いる, 支給額をなるべく事前に知りたい, 余裕
 のある学生は申請は控えるべきだ, などの意向
 がうかがわれるものであるが, 「回答がたった
 11 名というのは少ない」, 「具体的に学会側ど
 うして欲しいのかということがはっきりしない」,
 「せっかく旅費が支給されていても取りに
 こない学生がいるのは不謹慎」, などの意見が
 出された。若手の会としてはさらに多くの学生
 の意見を知るべく今後夏の学校などでもこの問
 題を取り上げていくことになった。

1-4. 文科省実地検査報告

宮下事務長より資料 3 に基づき, 5 月 25 日の文
 科省の実地検査で指摘された種々の点が報告さ
 れ, またそれに対してどう対処することに決め
 たかについての説明があった。予算計画の記載
 方式の改善, 学会と取引のある業者が会員の場
 合など臆見と見られないようオープンな形での
 契約に努める, 役員が無報酬であることをきち
 んと細則で定める, など。

1-5. 全国同時七夕講演会

柴田副理事長より当日配付資料に基づき, 昨年
 に引き続き本年も全国で開催することになった
 全国同時七夕講演会についての概要と事前報道
 状況の報告があった。7 月 3 日時点の集計で 83
 会場, 89 講演の予定 (日時の異なる講演会は別
 会場と見なす)。またこのイベントの一環とし
 て, 京都の小中高生を対象に京都府教育委員会
 との連携で実施することになった「天文学出前
 授業」についての説明があった。(出前授業の担
 当者数は 30 人, 会場数は 47。それを考慮する
 と全国同時七夕講演会の会場数は 130 会場。)

1-6. 天文学会の男女共同参画連絡会オブザーバー学 会への移行

資料 4 に沿って男女共同参画委員会の黒田委員
 長の代理として同委員でもある望月評議員よ
 り, 男女共同参画学協会連絡会において日本天
 文学会が正式加盟学会からオブザーバー加盟学
 会へ移行する旨について, 報告があった。男女
 共同参画委員会内で協議の結果, 正式加盟の要
 諦である連絡会運営委員会への出席がなかなか

適わないこと、他学会との連携や情報収集にはオブザーバー加盟で十分に責が果たせると判断したこと等が理由である。

1-7. 日本天文協議会について

國枝理事長から、世界天文年日本委員会の自然な継続としてこのたび新たに発足する日本天文協議会（日本の天文研究・教育・普及・アマチュア活動を結ぶ全国組織）に日本天文学会も代表を送って協力することになったいきさつの説明があった。

2. 議題

2-1. 次期理事長推薦について

渡邊副理事長より資料5に基づき、この春に実施した次期理事長候補者公募において推薦を受けた候補者は岡村定矩氏1名のみであったので選挙は実施しなかったこと、したがって選挙管理委員会からは岡村氏が候補として本評議員会に提出されたこと、が報告された。これに対して意見の交換があり、岡村氏を正式に評議員会から理事長候補として総会に推薦することが承認された。またこのような理事長推薦という特別に重要な案件がある場合は選挙管理委員長も評議員会に出席して意見を述べてもらうべきだとの指摘もなされた。

2-2. 次期役員・選挙管理委員

竹田庶務理事より資料6に基づいて、次期（2011年1月1日～2012年12月31日）の新役員・選挙管理委員の候補者についての紹介が行われた。監事の候補者に本年末で退任予定の現理事が含まれていることについて、「現理事が直接間接にかかわっている本年度の予算・事業について任期満了直後に新たに監事の立場で査定するのは不適切ではないか」との指摘がなされた。議論の結果 牧島評議員を新たな監事候補として原案の候補と交代してもらうことに（本日居合わせた当事者の両人の了解を得たうえで）決まった。この点を変更したうえで、他の役員・選挙管理委員の候補は了承されて総会での承認に向けて提出されることになった。

2-3. 2011年度事業計画書案

資料7に基づき、竹田庶務理事より2011年度事業計画書案が紹介された、特に今回からは外部の人が読んでわかりやすいように、補足説明などを新たに付け加えたので、その変更内容を中心に説明が行われた。事業計画という趣旨にそぐわない文章構成が見られる点や、あまり適切でない言葉遣いなどの指摘があったが、これ

らの点を修正することを条件にして了承された。

2-4. 2011年度収支予算書案

田代会計理事より資料8に基づいて2011年度収支予算書案について説明が行われ承認された。ただ表記形式がわかりにくいのもっと見やすくできないかとの指摘があった。またこれに関連して、今後の天文学会の財政状況の見通しについての議論があり、「長期的に見て、赤字解消のためには会員（特に正会員）の数の増加による会費収入の増大が望ましい」という会計担当理事の発言に対し、「独自の天文関連商品販売などで収入を増やすことも並行して考えるべきではないか」などの意見が出された。

2-5. 秋季総会議題等

資料9に基づき、竹田庶務理事より秋季年会中に行われる総会における議題・報告についての案が示され、承認された。

2-6. 役員報酬に関する細則案

宮下事務局長より、文科省の実地検査からの指摘に応じて制定することになった、「役員は無報酬であり退職金も支払われない」ことを明記した新たな細則案（資料10）が説明され、了承された。

2-7. 百周年記念出版編集委員会について

百周年記念出版編集委員会から出された「現代の天文学シリーズが全巻完結して役目を終えたので委員会を解散したい」との申し出に対し、理事会では慎重を期して結論が保留になっている件で、どう処置すべきかが議論された。このシリーズの索引を兼ねた用語集（天文学辞典）の編集が新たに始まっていることもあり（当日配付資料）本委員会をその目的に移行させて（縮小してでも）継続しても良いのではとの意見もあったが、「委員会は確固としたミッションをもって存在すべきであり、本来の任務が終わったものははっきり解散させて、もし必要なら新たな委員会を立ち上げるべきだ」との意見が支持を得て、本委員会は今年限りで解散し、関連内規も廃止することになった。

2-8. 天文学会の来年以降の体制と法人移行

渡邊副理事長より、各理事と事務所各部局・委員会との関係を示す組織図、来年度からの新役員の体制と各事業に関する役割分担の構想、が説明された（資料11）。3年以内に決めねばならない法人移行という大きな課題に向けた準備の必要性や現在の体制における問題点を考慮しての試案であるが、これに対して「委員会ではな

いが理事長・副理事長の重要な職務である各賞への候補者推薦についても役割分掌を明記して欲しい」、「委員会の名称は機能が同じものならなるべく現在と統一すべきだ」などの具体的な注文も出された。来年度からの新役員や各委員会にもこの案に対する意見を募ってこれからさらに詰めていく予定。

[次回の理事会]

今回の評議員会は秋季年会の会期中9月23日(第二日目)の昼時に行われる。

次々回は未確定だが来年1月29日あるいは2月5日のいずれかを候補としてこれから調整を行う予定。

[資料]

資料1. 前回評議員会議事録

資料2. 新委員会委員候補者

資料3. 文部科学省実地検査で指摘された事項ならびに対応処置

資料4. 天文学会の男女共同参画学協会連絡会オブザーバー学会への移行について(報告)

資料5. 来年度理事長について

資料6. 来期新役員・選挙管理委員候補者

資料7. 2011年度事業計画書案

資料8. 2011年度収支予算書案

資料9. 2010年秋季総会議題・報告案

資料10. 日本天文学会役員の報酬・退職金に関する細則(案)

資料11. 日本天文学会運営新体制(案)

当日配付:

(1) 若手の会からの報告(天文学会旅費補助アンケートの結果報告)

(2) 全国同時七夕講演会・出前授業関連資料

(3) 「天文学辞典」について

2010年 7月 16日

議長: 牧島一夫 ㊤

署名人: 家 正則 ㊤

署名人: 伊藤紘子 ㊤

(社)日本天文学会へ2010年3月27日~8月6日に入会された方, 移籍された方, 退会された方をお知らせいたします。

正会員入会 (56名)

水野いづみ 鹿児島大・大学院理工(在学)

田中幹人 東北大

玉澤春史 京都大・大学院理(在学)

別所慎史 大阪大・大学院理(在学)

宮ノ下 亮 鹿児島大・大学院理工(在学)

西田芳郎 鹿児島大・大学院理工(在学)

山口善之 鹿児島大・大学院理工(在学)

市川幸平 京都大・大学院理(在学)

磯 直樹 東京大・大学院理(在学)

佐々木 明 東京大・大学院理(在学)/国立天文台

大友雄造 東京大・大学院理(在学)

丹羽佳人 東京大・大学院工/国立天文台

谷井良子 神戸大・大学院理(在学)

本岡慧子 神戸大・大学院理(在学)

松井悠起 東京大・大学院理(在学)

片岡章雅 京都大・大学院理(在学)

進藤 勇 (株)クリスタルシステム

中平聡志 青山学院大・大学院理工・物理(在学)

笹野 理 東京大・大学院理(在学)

二森 都 北海道大・大学院理(在学)

曾根幹央 京都大・大学院理(在学)

櫻井壮希 東京大・大学院理(在学)

服部公平 東京大・大学院理(在学)/天文学教育研

究センター

中野俊男 東京大・大学院理(在学)

門田晶子 山口大・大学院理工(在学)

亀崎達矢 鹿児島大・大学院理工(在学)

志達めぐみ 京都大・大学院理(在学)

宇田悠佑 神戸大・大学院理(在学)

國友正信 東京工業大・大学院理工(在学)

岡村雅普 東北大・大学院理(在学)

小川大樹 工学院大・大学院工(在学)

前田洸登 早稲田大・大学院理工(在学)

河合耕平 工学院大・大学院工(在学)

大倉裕樹 筑波大・大学院理(在学)

木村祥一 宮崎大・大学院工(在学)

森 珠実 東京大・理(在学)

有松 巨 東京大・大学院理(在学)

名越 遥 山口大・大学院理工(在学)

内山瑞穂 東京大・大学院理(在学)/天文学教育研究センター

扇野光俊 筑波大・大学院理(在学)

稲吉恒平 京都大・大学院理(在学)

荒木宣雄 愛媛大・大学院理工(在学)

酒井和広 JAXA・宇宙科学研究所/東京大・大学院理(在学)

坂下智徳 金沢大・大学院自然科学(在学)

谷津貴裕 金沢大・大学院自然科学（在学）
 二村 卓 東京都中央区在住
 台坂 博 一橋大・商
 山本堂之 日本大・大学院理工（在学）
 椎野竜哉 東京大・大学院理（在学）
 島ノ江 純 九州大・大学院理（在学）

莊 思寧 鹿児島大・大学院理工（在学）
 南雲 優 北海道教育大・大学院教育（在学）
 車 信一郎 京都大・大学院理（在学）
 春木祐輔 神戸大・大学院人間発達環境学（在学）
 大森法輔 宮崎大・大学院農学工学総合（在学）
 川尻友香 日本女子大・大学院理（在学）

準会員入会（20名）

堺井恵子 福山暁の星女子中・高校
 菊池之宏 九州大・大学院理（在学）
 天野孝伸 名古屋大
 陣崎真枝 東京都立川市在住
 五安城貴博 栃木県宇都宮市在住
 ソフィア リカフィカ パトリック 近畿大・総合社会
 本成 尚 沖縄県石垣市立伊原間中学
 里見充則 (株)日立製作所ソフトウェア事業部
 松尾康秀 九州大・大学院理（在学）
 菅原康司 日本電子(株)

木立 繁 神奈川県小田原市在住
 柏木利介 神奈川大・工
 小笠原正人 愛媛大・医
 奥嶋貴子 広島大・大学院理（在学）
 水野基裕 広島大・大学院理（在学）
 山崎翔子 広島大・大学院理（在学）
 中村彰正 久万高原天体観測館
 藤原 誠 兵庫県宍粟市在住
 安田哲也 埼玉大・大学院理工（在学）
 木村 宏 惑星科学研究センター

賛助会員入会（7社）

(株)オハラ
 (株)技術評論社
 サジェム(株)
 (有)岡本光学加工所

(株)清原光学
 (株)ナガセ インテグレックス
 日東光器(株)

移籍会員〔準→正〕（2名）

五十嵐 創 東京大・大学院理（在学）

鈴木 豊 鹿児島大・大学院理工（在学）

正会員退会（1名）

永田 健

準会員退会（1名）

竹内泰子

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード（5桁の数字と）vol198（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

児玉忠恭(編集長), 浅井 歩, 柏川伸成, 衣笠健三, 鈴木 建, 徂徠和夫, 竹井 洋, 野田寛大, 浜名 崇, 三好 真, 山崎 了, 吉田直紀

平成22年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2010年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)